

科目名	異文化コミュニケーション	
担当者	新内 康子 / SHIN' UCHI, Koko	
科目情報	教養科目1群 / 選択 / 前期 / 講義 / 2単位 / 1年次	
科目概要	授業内容	グローバル化に伴い国内外において文化背景の異なる人たちとの対面コミュニケーションが増えてきている。日本人が異文化の人たちとコミュニケーションをするとき遭遇しやすい問題点を、日本人のコミュニケーション行動の特殊性から概説する。
	到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 異文化コミュニケーションを構成する項目が理解できるようになる。 2. 文化差により生じる言語・非言語コミュニケーションの違いが理解できるようになる。 3. コミュニケーションの失敗の積み重ねにより生じるカルチャー・ショックの諸相が理解できるようになる。 4. 上記1～3について外国人にインタビューしその実態が分析できるようになる。
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> (1) 国内・海外における日本人の異文化コミュニケーションの現状と問題点 (2) 異文化コミュニケーションの背景 (3) 同上 (4) 異文化コミュニケーションの領域 (5) 同上 (6) 文化とコミュニケーション (7) 同上 (8) 非言語コミュニケーション (9) 同上 (10) 言語と文化的認識 (11) 同上 (12) カルチャー・ショック (13) 同上 (14) 異文化コミュニケーション実体験 (15) 総まとめ 	
自学自習	事前学習	<ul style="list-style-type: none"> ・「使用教材」の該当章を前もって読んでおくこと。 ・意味のわからない用語は辞書等で事前に調べておくこと。
	事後学習	<ul style="list-style-type: none"> ・講義内容を確実に理解するために、再度「使用教材」や「配付資料」を読み返すこと。
使用教材・参考文献	<p>【教】 鍋倉健悦『異文化間コミュニケーション』1997年 丸善ライブラリー</p> <p>【参】 西田ひろ子編『異文化間コミュニケーション入門』2000年 創元社</p>	
成績評価方法と基準	<p><方法> 読書レポート (15点) 毎回課すコメント (1点×15回=15点)</p> <p>前期末レポート (70点)</p> <p><基準> 上記評価方法によりいずれをも60%以上達成した者を合格とする。</p>	
備考	読書レポートの内容を成績評価の対象とする。	